

## 令和元年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：学校法人金沢学院大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

幼児教育の無償化に伴い、幼児教育の更なる質の向上が求められる中、文部科学省は幼稚園教諭二種免許状を有する教員に対し、一種免許状への上進を努力義務として促進している。石川県内の幼稚園および認定こども園等に勤務する幼稚園教諭及び保育教諭についても、幼稚園教諭二種免許状を有する教員の割合が高い。しかしながら、石川県内においては、上進のための免許法認定講習等が開設されていないのが現状である。

本事業は、石川県下における幼稚園教諭二種免許状を有し、一種免許状への上進を希望する者を対象に、社会や現場のニーズに応えた適切な講習を開発・実施し、石川県内における幼児教育の質的向上に貢献することを目的とする。

#### (2) 事業概要

本学は、平成30年4月に保育士資格・幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状・中学校一種免許状（英語）を取得できる保育士・教員養成課程として、文学部教育学科を開設した。そのため、保幼連携や幼小連携に対応できる教員養成に長けた専門的知識を持った教授陣が配されている。

本学が所在する石川県においては、文部科学省実施による事前の意向調査の結果、2つの公立幼稚園に勤務する幼稚園教諭二種免許状所持者10名のうち、上進を希望する者は6名であった。また、石川県私立幼稚園協会による県下私立幼稚園への事前調査では、幼稚園教諭二種免許状所有の現職幼稚園教員が100名程度いるとの結果であった。上記の意向調査結果をもとにすれば、その内の6割程度は上進を希望していると考えられる。

したがって、本学では、幼児教育の質の向上に資する幼稚園教諭の免許状の上進が適うよう、最新の教育事情を踏まえた定員80名規模の免許法認定講習を開発・実施する。初年度となる2019年度は、5単位分の講習を開設する予定である。

また、多忙を極める幼児教育の現場の事情を鑑み、免許状更新講習や教員研修、保育士のキャリアアップ研修等にも対応可能な講習を開発し、実施できるよう企図している。

2019年度実施日程（実施実績）

実施時期	活動の内容		
	実施内容	評価	検討委員会
2019年4月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会での意見を踏まえ講習を開発（開設科目の設定）</li> <li>・石川県私立幼稚園協会等と開催日程協議（開催予定日の調整）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の現職教員が幼稚園教諭一種免許状を取得するための免許法認定講習の在り方の検討</li> </ul>
2019年4月下旬～5月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許法認定講習等の認定申請</li> </ul>		
4月～6月	免許更新講習としての認定を受けた後、石川県私立幼稚園協会と受講者の募集に向けた、詳細の打ち合わせ実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許更新講習との同時開講等の検討</li> </ul>
2019年7月11日～	受講希望者への募集開始		
2019年8月 ①「幼児教育学総論」 （8月5日・6日・19日・20日実施）  ②「子どもの言葉と表現」 （8月27日・28日実施）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習等の実施</li> <li>①「幼児教育学総論」開講（於：金沢学院大学2号館講義室）</li> <li>②「子どもの言葉と表現」開講（於：金沢学院大学2号館講義室）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各実施講習の評価と省察を科目ごとに実施</li> </ul>	
③「特別なニーズのある幼児への支援」 （2019年10月5日、11月2日・30日、12月21日実施）	③「特別なニーズのある幼児への支援」開講（於：金沢学院大学2号館講義室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各実施講習の評価と省察を科目ごとに実施</li> </ul>	
2020年2月下旬～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習等の評価と省察、次年度に向けて</li> </ul>	受講者へのアンケート結果を次年度改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習等の評価と省察、次年度に向けて</li> </ul>

	の改善案の策定	策に反映。	の改善案の策定
2020年3月	・次年度実施講習の 認定申請		

### (3) 成果

今年度、本事業の委託を受け、従来石川県において開講されていなかった幼稚園教諭一種免許状への上進のための免許法認定講習を開講した意義は大きい。本事業の目的にもあげた、石川県における「上進のための免許法認定講習等が開設されていないのが現状」を変えた事実は、県下の幼児教育における資質向上の取り組みの一助になったといえる（下記、開設実績参照）。ただし、事業目的に記載のある「社会や現場のニーズに応えた適切な講習を開発・実施」については、課題が残された。

今回の免許法認定講習の実施に際して、石川県私立幼稚園協会による意向調査の結果では、県下の幼稚園教諭の中に、100名前後の上進ニーズがあることがわかっていた。しかしながら、講習を開講してみると講習全体での受講者は、23名（開講3科目合計で延べ66名）に留まり、当初事業概要に記載した「80名定員」を充足させての開講とは至らなかった。開講時期のミスマッチや幼稚園の職員全員が一度には参加できない現場の実態が明らかになった。

ただし、開設科目に関しては、事業計画にて予定した通りの開設科目を開講し、2019年度開講予定の5単位分の科目を実施できた。次年度、今年度受講者への講習開設を準備し、当初事業計画に則った残りの必要修得単位の6単位を充足させることで、今年度受講した25名の上進が適うよう講習を開講したい。

表1 令和元年度金沢学院大学幼稚園教諭免許法認定講習開講科目一覧

新たに開設した 講習科目名 (単位数)	講習内容	開設 数
幼児教育学総論 (2単位)	幼児教育の重要性がエビデンスとともに明らかになる現代においては、幼児教育のあり方や意義が問い直される側面が存在する。従来の幼児教育や保育者の思考様式・行動様式について、教育思想や実践を再確認しつつ、これからの時代に求められる幼児教育・保育者像について、理解を深める。新しい時代に子どもに求められる資質・能力に関する理解を通じて、それを育む為に必要とされる保育者の資質・能力についても理解を深めていく。	1

子どもの言葉と表現 (1 単位)	乳幼児期の子どもが豊かな言葉や表現を育む環境のあり方について、オノマトペや『にほんご』、おおよそ 5 歳から 8 歳頃の幼年期の子どもを対象とする「幼年童話」等を取り上げて、領域「言葉」と「表現」の指導の基盤となる基礎知識を身につける。改訂された 3 法令を踏まえた上で、感覚を豊かにし、他者に対する共感と想像力を育てていく、子どもの言葉と表現の発達過程を理解する。	1
特別なニーズのある幼児への支援 (2 単位)	幼児教育の現場はフルインクルーシブな教員環境である。そのため、多様な子どもたちの一人として、障害のある幼児や特別なニーズを有する幼児が存在する。最新の特別支援教育の知見、就学相談、巡回相談の実例から、それらの子どもに適した具体的な環境面の配慮、人的な支援、集団作りの方法等について理解を深めながら、講義を行う。	1

表 2 本事業を活用して幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員数

今年度受講者数	経験年数 12 年以上の受講者	今年度上進者
25 名	24 名	0 名

#### ○受講者アンケート結果

本事業終了後に、学力に関する証明書の郵送と共に、事後アンケートの依頼を参加者へ送付し、23 名中 9 名より回答結果を得た（任意回答の旨にて依頼）。

アンケート項目に関しては、以下の項目を準備し、ウェブサイトにて回答できるよう準備し、任意の回答をお願いした。

その結果を列記し、今後の課題の整理とする。

#### (1) アンケート項目一覧

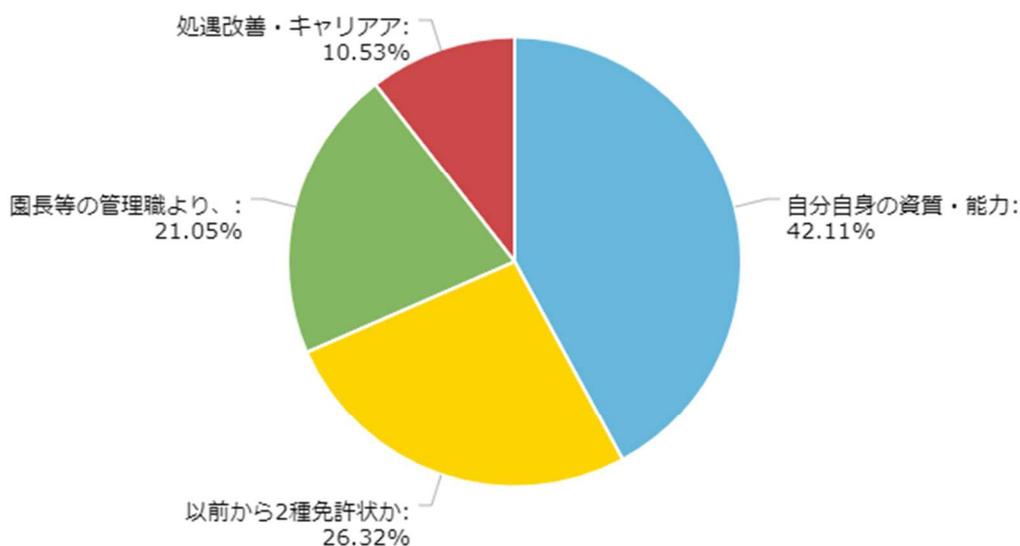
項目
<p>Q. 免許法認定講習の受講動機について以下の選択肢より、該当する理由をお選びください。（複数回答可）（必須回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から 2 種免許状から 1 種免許状へ上進を考えていたため。</li> <li>・園長等の管理職より、受講するよう勧められたため。</li> <li>・自分自身の資質・能力の向上のため処遇改善・キャリアアップのため</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。（必須回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不満・やや不満・やや満足・満足」の四件法にて回答</li> </ul>

Q. 申込や当日の運営等でお気づきの点がございましたら、お聞かせください。 ・自由記述による任意回答
Q. 開講科目（講習内容や実施形態・実施時間等）に関して、ご意見等がございましたら、お聞かせください。 ・自由記述による任意回答
Q. 講習全体を通してのご感想や次年度の受講に向けてのご要望等をお聞かせください。 ・自由記述による回答（必須回答）

## (2) アンケート結果

まず、「Q. 免許法認定講習の受講動機について以下の選択肢より、該当する理由をお選びください。（複数回答可）（必須回答）」については、多くの参加者が資質向上の機会とすることを第一の目的にしていることがうかがえる。

自分自身の資質・能力の向上のため	42.1 % (8)
以前から2種免許状から1種免許状へ上進を考えていた。	26.3 % (5)
園長等の管理職より、受講するよう勧められたため。	21.1 % (4)
処遇改善・キャリアアップのため	10.5 % (2)



Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。「幼児教育教師学概論」

満足	100 % (9)
----	-----------

Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。 「子どもの言葉と表現」

満足	77.8 % (7)
やや満足	22.2 % (2)

Q. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。 「特別なニーズのある幼児への支援」

満足	88.9 % (8)
やや満足	11.1 % (1)

以上の結果より、アンケートの回答者のみではあるが開講科目については、3科目ともに高い満足度を得ることができたと考える。以下、科目ごとの自由記述による感想からその内実を検討したい。

#### ○科目「幼児教育教師学概論」に関する自由記述による感想

- ・幼稚園教諭としてだけでなく、人間としての心理、内面のコントロールなど研修では聞くことのできないお話を沢山していただき、興味深く、又子どもと関わっていくにあたりまずは自分自身を振り替える機会になりました。
- ・面白く楽しい講義でした。特に子ども達と接する中で、自分自身が充実していないということが心に残り、子どものモデルとして、世界観を広げていくためにも自分自身が心豊かに…と強く思いました。
- ・様々な知識を学ぶ中で、保育者としての在り方や、子ども達の心について、考えさせられました。楽しい講義でした。
- ・先生の話がこれまでの講義と違い、大変興味深い話でした。
- ・保育者は、物的環境を構成し機能させる役割と、人的環境である主体の自分を客観的に見る自分が必要であることを学んだ。与える側の立場、モデリングとしての自分が輝くためには、自分をどう変えていくか・・今までしてきたことの問い直し、自身のチューニングが大切であること。そうするためにはどうしたらいいかを様々な方法で具体的に教えて下さり、保育者としての自分だけでなく、1人の人間のとて深く考えさせられました。すぐに実践できるものもあり、今でも継続しています。今後も資料を見返しながら生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・とても丁寧にわかりやすく教えてくださいました。教師としてあるべき姿、子どもの特性、大人になると自分の殻がなかなか取れない等いろんな気づきを得る事ができました。
- ・日常、じっくりと聞いたり学んだりできない内容に加え、現場に戻り、即、活用できることまで聞くことができ大変、興味深く受講できました。脳科学、1日のスケジュール管理など活用しています。記録のとり方も変えてみました。また、意識して本を読むようになりました。可視化も意識しています。

- ・保育者として大切なことは、保育の知識を持つことも大事だが、いろいろ考え方ができる保育者であるべきだと学ぶことができた。難しい話も中にはあったが、とても勉強になった。
- ・講義に集中しやすいように雑学等を交えていてとても聞きやすかったです。

### ○科目「子どもの言葉と表現」に関する自由記述による感想

- ・10の姿など、教育要領で記されていることを深く読み解くことで言葉だけでなくその重要性を再認識しました。また日頃の保育の中で、子どもにとっての利益を考えた環境になっているのか、物的、人的環境の見直しも考えさせられました。
- ・子ども達と接する上で、乳児からの成長過程を改めて振り返って再認識したり、その中での教材選び、環境、しっかり目の前の子ども達を見つめて考えることの大切さを感じました。
- ・マザーグースや歌や物語イメージの世界を学びました。10の姿についても、わかりやすく考えることができ、すぐに保育に生かせる、楽しい講義でした。
- ・実践的な講義もあり楽しく学びました。
- ・3法令の改訂についても、現在どうなっているのかを深く分かりやすく教えて下さり、絵本から幼年童話への移行時期の重要性、子どもの哲学についても園で取り入れていたので、大変興味深く学ばせて頂きました。3法令改訂視点からの振り返り、幼児期にふさわしい教育も各発達段階での細かなねらい、留意事項なども細かく記載して下さい、その上で子どもが自ら楽しんだり味わったりする状況になるような環境を整え支援する。子どもの心身の解放が保障されることが重要であるとまとめて下さり分かりやすかったです。どの資料も図式化や分かりやすくまとめて下さっていたので、見返してもまた勉強になります。マザーグースも音楽好きの私には、とても楽しい時間でした。どの講義も大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の3法令の同時改定の内容を伺ったり、0歳から6歳までの子ども達がしっかりつながる連続性のある内容になったことや小学校教育との接続、環境を通しての教育が幼児期で大切な事基礎的な学びを深める事ができました。幼稚園の終わりまでに育ててほしい姿についてや実技もたくさんあって頭と心と汗をかくことができました。
- ・2日間は、あっという間でした。まだまだ、受講したい気持ちで終わってしまいました。2日間に凝縮して時間のある限り話をしてくださった先生方に感謝しています。2学期に入り、早速、学んだ表現活動を実行してみました。子ども達の表現がとても豊かなものとなりました。また、感覚や表現、言葉を意識して保育すること(何を意味してやっているのか・どこが育てているのか)が自分の保育を洗い出すきっかけにもなりました。
- ・表現することの楽しさや喜びを子どもたちに伝えるには、保育者自身が豊かな感性が必要だと改めて痛感。
- ・色々な音楽等にも触れ合えることができ今後の保育にもいかしていこうと思いました。

## ○科目「特別なニーズのある幼児への支援」への自由記述による感想

・難しい内容だと感じましたが、幼児教育だけに留まらず子ども達が未来に向かって育って行く、社会を担って行く時に私達のできることは…と、考えさせられることばかりでした。何をもちいて障害と決めるのか。決めるのは社会なのか、答えの出ないことも沢山ありましたが、考え続けていかなければならないのだと思います。

・今までの受けもった支援ある子への対応や悩みを他の先生方と話しあえたり、講義をききながら納得したり改めて認識したり、支援する上での手がかりになったり、すごくためになりました。

・障害について詳しく学び、子ども達への支援や、必要な環境など考えることができました。様々なことをディスカッションしたり、情報を知ることができて楽しい講義でした。

・専門用語もたくさん学べました。これからの配慮を必要とする子ども達への支援を考えさせられました。

・最先端の発達障害の理解と教育についてや、具体的な指導法又、認知能力と非認知能力についても知識、事例、実践テストなど様々な分野から、深く学ばせて頂き大変勉強になりました。現在抱えている現場での悩みも、今回の講義を通して見方を変えることもでき、改めて特別支援について勉強していくことが、今後更に重要になってくると強く感じました。障害ととるのではなくその子の個性、特性としてどう伸ばしていけるか考えていくことの必要性、どういう合理的配慮ができるかなど、実際に悩んでおいでるお母さんとお話しをさせて頂くことができ、とても有難かったです。まだまだ古い考えの私ですが、資料を読み返し現場に生かしていけるよう頑張ります。ありがとうございました。

・障害とは何か？いろいろな障害、発達だけでなく愛着での障害等いろいろな角度で学ぶ事ができました。ADHDの保護者は薬を使う事を親としてどう考えるのか等親目線で気づかせてくださったり日常子ども達と触れ合ったり保護者とかかわっているのにより学びが深まり、気づきを得ることができました。自閉症についても学びを深め、(原文ママ)

・特別なニーズのある幼児は以前に比べ増えています。様々な研修にも足を運びますが今回のように連続して受講できることはないので大変、有り難く学ばせて頂きました。また、事例と共に講義をして下さったので理解しやすかったです。一方的に講義を受けるだけでなくグループワークもあり、他園の先生方と話す機会にもなって良かったです。現場に戻ってみると、まだまだ受講したい内容がありました。

・1番心に響いた講義でした。実際支援の必要な子どもたちと過ごす中で、自分の無力さを再認識。もっともっと勉強が必要だと強く感じた。また聞きたいと思える内容だった。子どもたちを取り巻く環境の厳しさの中で自分はなにができるのかと、今も自問自答している

・他の先生方の意見交換も出来て、考えの幅が広がりました。

以上、科目ごとに得られた感想を列記した。各科目により受講者が抱いた感想は様々ではあるが、それぞれの受講者が自身の教員経験を踏まえ、学習事項と向き合っている感想

や意見が多く見られた。また、新規の学習事項についても単なる知識習得のみでなく、自身の教員経験を振り返りつつ、学習内容を習得し、省察的な学習の機会となっている様子がうかがえる。

当日の運営等に関する事項では、開催時期やトラブル等への対応等、ユーザー目線での意見・感想を得ることができたので今後の開催時の参考にしたい。

**Q. 申込や当日の運営等でお気づきの点がございましたら、お聞かせください。**

- ・申込みが完了するまでが色々わからないことがあったりして不安でしたが、受講してからは、教室の変更等も連絡くださりありがたかったです。
- ・クラスの変更がありましたが、連絡して頂いたり、当日、案内して下さる方が立っていて、その場所で教えてもらえたので、良かったです。
- ・クーラーが効かなくなった時は、熱中症になり掛けましたが、今年は特別暑かったのが想定外だったと思います。他の教室に移動させて下さり助かりました。平日は、学食も使用できて美味しく頂きました。学生気分でもともと、楽しかったです。
- ・エアコンが故障したと気にすぐに代替のお部屋を準備いただいたり、水分の配慮をしてくださったりいろんな面で気を使ってくださっていました。ディスカッション形式が多く一般の学生さんとは違った現場の声を上手に聞き出して授業を運営する先生方は素晴らしいと思いました。
- ・当日の天候(気温の上昇や豪雨)空調の故障などにも適切に配慮・対応して頂き有り難く思いました。
- ・スムーズだったと思う

開講科目への意見・要望等に関しては、現職教諭としての参加日程の希望時期と急な欠席等への代替日の要望等が得られた。

**Q. 開講科目（講習内容や実施形態・実施時間等）に関して、ご意見等がございましたら、お聞かせください。**

- ・黒板やプリントの文字の大きさや、スクリーンの明るさによって、見えにくい時もありました。
- ・どの科目もそれぞれの特色があり、最先端の幼児教育の実態と、保育者としてどうあるべきかを問い正して下さるもので、本当に勉強になりました。どの先生方も経験者の私達に温かく接して下さり、授業に様々な工夫を凝らされておいでるのが伝わり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
- ・実施時間は特にありませんが日程が今回発表会とぶつかってぎりぎりでの単位取得となりました。1日休むともう難しくなってしまうので年度内で救済できる授業を1～2単位準備いただけるとありがたいと思いました。とはいえ先生の問題があると思うので仕方ないですが・・・

・どの科目も現場に戻り、直ぐに意識して学んだことを生かせるものだったので良かったです。

・来年度の実施日がきまったら早々に知らせてほしい。受講します。

次に、講習全体を通じての感想・要望への回答から本事業での今後の課題を検討したい。

**Q. 講習全体を通してのご感想や次年度の受講に向けてのご要望等をお聞かせください。**

・もし、可能であれば、8月までに全て終わる形で講習を受けられれば…と思います。

・次年度も受講したいと考えています。行事とかぶらずに全て受講できたので、次年度もそうだと良いと思います。もし受講日と行事が重なってしまったらまた相談できたり、対応していただけると嬉しいです。

・講義は、どれも楽しく学ぶことができ良かったです。保育者としての在り方や、環境について考えさせられました。これからの保育や、子ども達の未来が、愛のあふれる、素晴らしいものになるといいなあと思います。また、学びを深めたいです。

・どの講義もとても勉強になりました。ありがとうございます。時期ですが、早めの時期から始まり8月いっぱい全ての受講が終了すると助かります。

・以前から1種免許を取得したいと思っていたので、今回の機会は本当に有り難く大変大きな学びとなりました。最先端の幼児教育を素晴らしい先生方に温かく優しく教えて頂き、また、年をとって覚え辛いこともありましたが、学生？さんとも仲良くなり励まし合い、先生方のご配慮も頂きましたお陰で、1年目を乗り切ることができ本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。あともう1年ありますが、古い自分の考えに縛られず、今後の幼児教育の推進に向かって引き続き勉強させて頂きたいです。来年度もまたよろしく願いします。

・現場で20年経験してから授業は頭に入るのか不安でしたが、先生方がとても分かりやすくお話しをされたり、ディスカッション方式で話を引き出した上で大切な事を教えてくださいました。視聴覚教材も多くとても分かりやすかったです。現場の経験が多い分、先生のお話しもとても理解できイメージができました。先生方が・とても優しく丁寧な口調でお話をしてくださったので良かったですし最初に抱えていた不安はなくなりました。次年度の受講についてですが日程が心配です。すべて受講したいと思います。園行事と被らないか不安です。全員の声を反映するのは難しいですが今回受講の20人の大型行事程度は配慮いただけるとありがたいです。来年度もどうぞよろしく願いします。

・とても熱心な優しい先生方の講義に心より感謝しています。できれば、休暇中(夏休み)になるべく受講したいのが希望ですが、先生方の授業との兼ね合いもあると思いますので、遅くとも今年度のように年内には受講を終了して頂けたら有り難く思います。今年度もよろしく願い致します。

・2学期は行事が多いので、できるなら1学期と夏休み中に開催希望。雪がない間にしてもらえると嬉しい。

・夏期期間中などまとめて受講できたら嬉しいです

まず、全体を通じて、「受講動機」の回答での「資質向上の機会」としたい受講者の意欲がうかがえる内容となっている。同時に、大学での学びに対する不安を抱いていたとする意見も見受けられた。その上で、受講者の不安を払拭しつつ、講習を進行したことへの安堵からも受講者にとって満足度の高い上進講習の機会として機能したことがうかがえる。科目担当者の力量に感謝するところである。また、受講内容よりも、開講時期等、現職教諭ならではの意見・要望が得られた。多くの幼稚園教諭が夏休みまでの受講完了を望んでいる様子であるので、次年度以降の開催の際は開講日程を夏休み終了までを目処として計画していきたい。

#### (4) 今後の課題・展望

今後の課題としては、(3) 成果でも記載した、開講日程と他の講習とのタイアップである。仮に、12年以上の経験年数を有している現職教諭であっても、最低必要単位数は10単位であり、おおよそ22日間以上の受講日数を必要とする(1日=90分講義を4コマで算定)。1年間で上進を達成するためには、その日数を現職教諭の夏休み期間、及び休日を活用したとして、日数としてはかなりタイトかつ開講日に限定的である実態も存在する(受講者アンケートより)。先の石川県における免許上進希望者の潜在ニーズを考慮したすれば、免許法認定講習として安定的に上進の機会を保障していくためには、2ヵ年での上進を想定した開講科目および日程での開講が妥当なのではないかと思われる。現場の幼稚園教諭のニーズに沿い、8月までの受講完了を想定すると、1年間におおよそ10日間程度の講習を2年継続して受講し、上進していく。

また、他の研修・講習とのタイアップについては、次年度以降の開講科目において、免許更新講習との相互認定となるよう開講科目を用意し、現職幼稚園教諭にとって、負担を減らしつつ、充実した講習内容を用意したいと考える。